

自助

～自分の命は自ら守る～ 被害を抑えるために「備え」が重要

自宅を守る備えには
何があるのだろう？



トウカイゼロ
TOUKAI-0

「トウカイ-0」って何？

東海地震による被害を減らす（倒壊ゼロ）ため、国や県とともに進めている事業です。昭和56年5月以前に建てられた木造住宅を対象とし、耐震診断や耐震補強への補助金交付のほか、各種事業を実施しています。詳しくはこちら



家屋の倒壊や家具の転倒から命を守るためには、自宅の安全確保が重要です。自宅の安全度を上げるための対策を確認しましょう。

住み続けられる わが家に 耐震診断で自宅の強さをチェック

【防災メモ】

市内住宅の
耐震化率
94%



トウカイゼロ
TOUKAI-0



昭和56年5月以前に建てられた木造住宅に住んでいる人を対象に、無料で専門家による耐震診断を実施しています。地震発生後の家屋倒壊を予防するために、自宅の耐震強度を確認しましょう。※住宅の耐震補強工事に対する補助金制度があります。まずは建築住宅課（☎626-2169）にご相談ください。※「無料耐震診断」は今年度で、「耐震補強工事補助」は令和7年度で終了予定です。

「耐震診断」～「耐震補強工事」の流れ



耐震シェルターや防災ベッドで命を守る

住宅全体の耐震補強が困難な場合でも、耐震シェルターや防災ベッドを設置することで、命を守ることができます。※設置に対する補助金制度があります。まずは建築住宅課（☎626-2169）にご相談ください。



耐震シェルター



防災ベッド

よくいる場所や無防備な睡眠中の安心度がアップ！

トウカイゼロ
TOUKAI-0



市ホームページ

家具の固定や感震ブレイカーで安心度アップ



家具を固定したり、窓ガラスへ飛散防止フィルムを貼付したりすることで、自宅内の安全対策を強化しましょう。また、災害時、電気の供給が再開されたときに起きる火災を防ぐためには、感震ブレイカーの設置が有効です。※設置に対する補助金制度があります。詳しくは市ホームページを確認するか、地域防災課（☎623-2554）へ問い合わせてください。

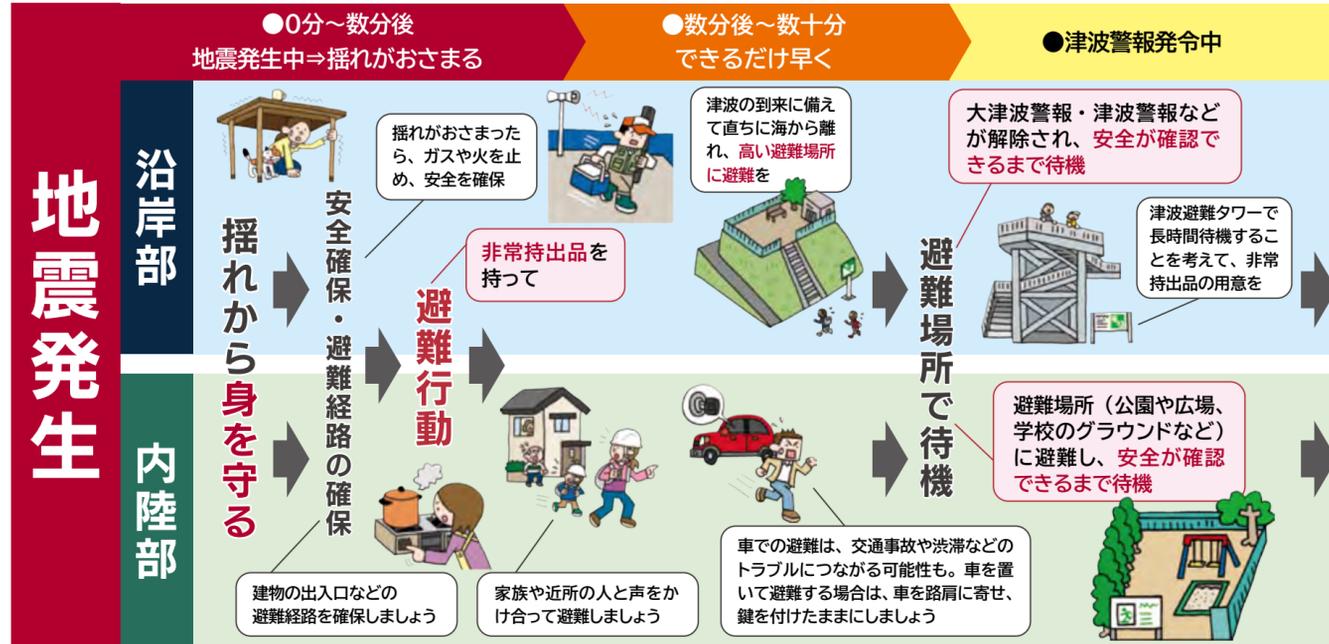


市ホームページ

地震発生から避難までの流れ



地震が起きたら、どんな流れで行動するか、おさらいしよう！



身の回りでどんな災害が起きるのかしら？



「地震」と「大雨」では避難行動が違うんだってね。

ハザードマップ

日頃から確認して、災害に備えよう！

市では、災害に備えるために、「防災地図」と「洪水ハザードマップ」に分けて、浸水想定や避難する場所などの重要な情報を公表しています。身の回りでどんな災害が起こりえるのか、確認しておきましょう。防災地図と洪水ハザードマップは、市役所本庁舎や消防防災センターの窓口、市ホームページで確認することができます。



地震・津波

防災地図



水害・土砂災害

洪水ハザードマップ

わたしの避難計画

「わたしの避難計画」は、想定される自然災害（地震、津波、風水害、土砂災害）に備えて、「どのタイミングで」「どこに」を事前に整理したものです。日頃は目に着くところに貼っておき、いざというときの避難に役立てましょう。消防防災センターの窓口や市ホームページで確認することができます。



災害時に慌てることなく、すぐ避難



わたしの避難計画

平常時に記入し非常持出袋で保管を

わが家の安否確認カード

市が作成した、地域での安否確認のためのカードです。自治会・町内会を通して、回覧板などで配布しています。災害時に安否が分からない人がいた場合、救助・捜索活動や、身元不明の人との照会の重要な手掛かりとなります。

■安否確認の重要性

安否確認ができると、不要な捜索・救助活動が減り、本当に助けが必要な人を素早く救助できるようになります。平常時に書ける欄を記入し、いざという時に備えましょう。

■防災訓練における活用

実災害で使うことが前提のカードですが、防災訓練でも活用し、使用方法の周知に努めています。訓練時には、「安否確認できた人」を地域で集計し市へ報告することで、情報伝達の訓練としています。災害時の緊急救助要請や報告につながる重要な訓練です。



わが家の安否確認カード

知ってナルホド！用語解説



■安否確認場所

大規模災害の後、住民の安否を確認するための場所で、各自自主防災会で決められています。地域で確認しましょう。

■津波避難場所

大きな地震の後には、海岸から離れて、可能な限り高い場所や近くの高台や津波避難タワー・津波避難ビルなどに避難しましょう。近くにどのような施設があるか、日頃から把握しておくことが必要です。

